

昭和十四年七月十日

在唐山

副領事梅谷斌雄

外務大臣 有田八郎殿

分室

天津英佛租界隔絶ニ因ル涿縣潜伏抗日匪ノ活動ニ及ホセル影響ニ関スル件

本件ニ関シ當館警察署涿州派遣所長ノ報告左記ノ通何等御參考迄報告申進ス

記

去月十三日當局ハ英断ニ依リ實施セラレタル華

在天津日本總領事館唐山分館

北抗日運動ノ策源地天津英佛租界ノ隔絶ハ近ク高粱繁茂季ヲ期シ再ビ蜂起計畫ヲ進メ着々準備中ナリシ當涿縣下ノ潜伏抗日匪ニ相當甚大ナル打撃ヲ与ヘタルモ、如シ即チ英國租界七十二号路十七号ニ在ル國共合作ノ華北抗日救國會ハ隔絶實施ト同時ニ全ク其活動ヲ停止シ百余名(内女三十名)ノ不逞分子ハ拱手屏息ノ他ナキ状態トナリタル結果從來救國會ノ指導ト援助ヲ唯一ノ頼ミトシテ匪徒募集資金獲得ニ躍起ノ暗躍ヲ續ケ居タル當涿縣下抗日匪ハ隔絶實施以來其連絡ヲ絶レタル爲最近各匪團善シテ解散セルモノ匪徒半減セルモノ續出シ殆ンド潰滅ニ頻シマ

天津租界

昭和十四年七月廿八日接



11820

1819 209

五々土匪化シツ、アリト謂フ
 曾テ救國會ニ出頭シ華北抗日遊撃隊總隊長
 フ命セラレ妄動ヲ續ケ居リシ各抗日匪首ノ糾
 合セル匪徒概數ニ就テ隔絶前後ノ比較左表
 ノ如シ

記

匪首名	前匪徒數	後匪徒數	蟄居地
張鶴鳴	八〇〇	一五〇	第二区邢各莊一帶
李光宇	三、五〇	一五〇	第一区高各莊附近
丁凱	二〇〇	一三〇	右全
張殿	三〇〇	一五〇	第二区古馬莊附近
閻文林	一五〇	三〇	第三区閻莊附近
畢長貴	二〇〇	三〇	第四区李家土一帶
在天津日本總領事館唐山分館			
張豐慶	四〇〇	二五〇	第五区魏各莊一帶
高小安	五〇〇	一五〇	第六区西玉坨一帶
刘慶	三〇〇	一五〇	第七区店子莊一帶
杜太連	三〇〇	八〇	第七区杜平地一帶
刘天瑞	一〇〇	一	天津英國租界内
張依林	五〇〇	一	右全
張鈞	一五〇	一	右全
何回	二〇〇	八〇	第七区小水坡一帶
張瑞成	三〇〇	五〇	第七区榆子林一帶
姜有余	三〇〇	一五〇	第六区司集莊一帶
計	五〇五〇	一五四〇	

右報告ス
 本信寫送付先 敬言務部 古治、芦台、

013 1822 S 1.1.1.0 - 54
 1821 210 S 1.1.1.0 - 54

本信寫送付先 北京天津

在天津日本總領事館唐山分館

112 2981 16-1-11

S 1.1.1.0 - 54 1823 211

REEL No. A-0258

0136

アジア歴史資料センター

天津租界問題ニ關シ在京英國大使ヨリ申出ノ件

七月八日附在京英國大使發有田大臣宛
半公信要譯

(昭和一四七一〇 西一)

拜啓陳者七月六日附往翰及天津英國租界ニ於ケル牛乳供給ニ關スル
新聞記事ニ關シ本使ハ茲ニ閣下ニ對シ在天津英國總領事ヨリ受領シ
タル電報ノ内容ヲ更ニ通報スルモノニ有之候

總番號亞一381

「ジャミーソン」總領事ハ七月二日英國租界ニ對スル牛乳ノ供給カ
同日午後遅ク達シタル事實ヲ報告致候然ルニ七月三日ハ英國租界市
場ニ對シ僅カ四十本ノ牛乳カ達セルニ過キヌ且七月四日、五日、六
日ニハ全然供給ナカリシ次第ニ候右市場ニ於ケル通常ノ日々ノ供給

1824 212

S 1.1.1.0 - 54

天津租界

2

ハ約七百五十本ニ有之候右供給ニ加フルニ私的消費者ニ直接ニ供給
セラルル牛乳ノ通常ノ量ハ約三千「ガロン」ニ達スルモノニ候本件
供給ニ對スル日本側措置ノ結果ノ一例トシテ本使ハ四日間モ英國總
領事館ニ對シ牛乳ノ配達ナカリシ旨ヲ指摘スル要アリ且病院ハ英國
軍隊カ撥入スルヲ許サン居ル軍用「トラツク」ニ依ル極ク制限セラ
レタル本數ヨリ供給ヲ得居ルコトヲ指摘スル次第ニ候
本使ハ新聞報道カ天津日本憲兵隊大田少佐カ「英國側ハ日本カ牛乳
及食料ノ租界ニ對スル撥入ヲ禁止シタルヲ報道シ居ルモ右ハ全ク捏
造ナリ」シコトヲ聲明セルヲ留意致候本使ハ若シ可能ナラハ右聲明
ニ同意致度モ前記事實ニ依リ明ナルカ如ク是等供給ニ對スル干涉ハ
現實ノ事實ニ候故ニ本使ハ再ヒ日本政府ニ對シ現地日本官憲カ右必

S 1.1.1.0 - 54 1825 213

要食料品ニ對スル供給ノ干涉ヲ直チニ停止スヘキ旨明ニセラルル様
要請スルモノニ有之候
敬具

S 1.1.1.0 - 54 1826 214

別紙添附

亞一普通第二五九號
昭和十四年七月十日

外務大臣 有田 八郎

在天津
總領事 田代 重徳 殿

天津租界檢關ニ於ケル英國人取扱ニ關シ在京
英國大使申出ノ件

本件ニ關シテハ六月下旬電報ノ次第アル處重ネテ在京英國大使ヨ
リ六月二十八日附本大臣宛半公信ヲ以テ我方檢問ニ於ケル英國人
ニ對スル侮辱的取扱ハ尙持續セラレ居ル旨別紙寫ノ通申越セリ委
細右ニテ御了悉相成度
本信寫送付先 北京、上海、南京

外務省

日本標準規格B5
S 1.1.1.0 - 54 1827 215

秘

軍令部
日高少佐ヨリ
連係趣レタス

天津租界内是一件
 七月十日附クレイキール大佐報告を
 総領事宛に報告
 (昭和十四年七月十一日、五)

租界ニ對スル牛乳ノ搬入ニ關スル干渉力中止
 セラレザレ場合ニハ申付テ於ケル日英交渉ヲ中
 止シ後者有田大佐ニ提案シテ付七月七
 日以降ノ本件ニ關スル事情ヲ報テリ迄

外務省

S 1.1.1.0 - 54

1829 217

東京第一郵便局

天津租界

別紙添附

亞一普通第二六〇號

昭和十四年七月十日

外務大臣 有田 八郎

在天津 總領事 田代 重徳 殿

天津英國租界ニ對スル牛乳搬入ニ關シ在京
英國大使申出ノ件

本件ニ關シ在京英國大使ヨリ七月四日附本大臣宛半公信ヲ以テ七月
二日及三日英國租界ニ對スル牛乳ノ搬入禁止セラレタルカ右ハ非人
道の措置ナル旨申越タル次第ハ七月初旬概略電報シ置タル通ナル處
右書翰寫別添送付ス

本信寫送付先 北京(大)・上海

日本標準規格B5

S 1.1.1.0 - 54

1828 216

電信寫

秘

昭和14 二一五九六

暗

天津 七月十二日後發
本省 十二日夜着

亞、歐、通

有田外務大臣

第四七九號

往電第四一二號ニ關シ

一、英租界ヘノ食糧品供給量

英當局公表一日ヨリ三日間肉五、一二〇封度魚二、四三〇封度鹽

五三六羽卵九、二〇〇個牛乳一、〇七五本（一本二、五合入）水

三、〇〇〇封度野菜七、〇五〇封度尙七日豚五〇頭鶏一、〇〇〇

羽野菜致噸上海ヨリ到着シタルヲ以テ檢問實施直後通常所要量ニ

天津秘寫

日以漸ノ多情ハ判明シ居レリ

外務省

S 1:1:1:9 - 54

1830 218

S 1:1:1:0 - 54

1831 219

REEL No. A-0258

アジア歴史資料センター

秘

電信寫

對スル供給率一五一二〇%ナリシカ現在ハ五〇%ニ増加セシ旨報セリ

ニ食糧品價格

英工部局ハ檢問實施前主要食糧品一七六種ノ公定價格ヲ公表セシカ八日現在一二八種ニ減シ(檢問及期節外レニ依ル供給杜絶)公表シ居レルカ同表ニ依レハ五八種ハ上昇シ七二種ハ主トシテ据置ニシテ平均四六%ノ上昇ヲ示セリ(佛市場ハ二八%ノ上昇)尙英當局ノ言ニ依レハ特別ノ變化ナキ限り食糧品ノ價格統制ヲ行ハサル由ナリ

北京、上海へ轉電セリ

S 1.1.1.0 - 54 1832 220

秘

電信寫

昭和14 二一五三〇 暗

北京 七月十二日後發
本省 十二日後着

駐歐

有田外務大臣

第八一九號

往電第八〇五號ニ關シ

其ノ後謀者ノ續報ニ依レハ徐惠東ト特別呢懇ノ間ニアルハ在天津英國總領事「ジャミソン」ニシテ英國側カ同租界内ニ於テ抗日分子ノ庇護非法行爲ノ許容及金融攪亂等凡ユル抗日援蔣行爲ヲ敢行シ來レルハ右兩者ノ關係ニ基ク所大ナルモノアル趣ナリ

右御參考迄
在支各總領事へ轉電セリ

天津社

S 1.1.1.0 - 54 1833 221

極秘

昭和14 二一五五六

(暗)

北京

七月十二日

後發

十二日夜差

本省

有田外務大臣

堀内参事

文部省

第八二二號 (極秘) 館長符號扱

往電第七八九號ニ關シ

軍司令部ニテハ租界封鎖ヲ更ニ嚴重ニスル意味ニテ檢問檢索ヲ海上ニ及ホシ英國船ヲ臨檢檢査セントノ意嚮ヲ有シ營方ノ意見ヲ求メ來レルニ付營方トシテハ斯ル措置實行ニ對シ理由ハ何トテモ附ケ得ヘク食料品等ノ運搬其ノ他通商阻止ニ依ル英國側ニ對スル峻カラセ手段トシテ效果ナキニアラサルヘキモ他方本件實施方法カ陸上ト異リ

電信寫

S 1.1.1.0-54 1834 222

極秘

目的物カ船舶ナル丈ケニ「スケール」モ大ニシテ「トラブル」發生及程度モ遙ニ大ナルヘク其レ丈ケニ之カ當ク波紋モ甚大ナルヘキニ付大局上果シテ有利ナルヘキヤ俄ニ豫斷シ難ク而シテ東京交渉モ見透シ付カサル目下ノ情勢ニ於テハ直ニ贊成シ難キ旨述ヘ置キタリ

上海、天津、へ轉電セリ

電信寫

S 1.1.1.0-54 1835 223

電信寫

極秘

目的物カ船舶ナル丈ケニ「スケール」モ大ニシテ「トラブル」發生
及程度モ甚ニ大ナルヘク其レ丈ケニ之方當ク波紋モ甚大ナルヘキニ
付大局上果シテ有利ナルヘキヤ俄ニ豫斷シ難ク而シテ東京交渉モ見
透シ付カサル目下ノ情勢ニ於テハ直ニ贊成シ難キ旨述ヘ置キタリ
上海、天津、ヘ轉電セリ

S 1.1.1.0 - 54

1837 225

電信寫

極秘

昭和14 二一五五六 (暗)
北京 七月十二日後發
本省 十二日夜發
有田外務大臣
第八二一號 (極秘) 館長符號扱
往電第七八九號ニ關シ
軍司令部ニテハ租界封鎖ヲ更ニ嚴重ニスル意味ニテ檢問檢索ヲ海上
ニ及ホシ英國船ヲ臨檢檢査セントノ意嚮ヲ有シ營方ノ意見ヲ求メ來
ルニ付營方トシテハ斯ル措置實行ニ對シ理由ハ何トテモ附ケ得ヘ
ク食料等ノ運搬其ノ他通商阻止ニ依ル英國側ニ對スル機カラセ手
段トシテ運馬ナリテラサカヘモモ他方本件實施方法カ陸上ト異リ

S 1.1.1.0 - 54

1836 224

天津

記帳簿

東亞局

機密第一〇三ノ號

第二課

天津北平

昭和十四年七月廿日 接



昭和十四年七月十一日

在天津

總領事 田代重徳



外務大臣 有田八郎 殿

1838

226

租界問題 關シ美居留民代表者會議ノ件
本件 案ノシ何等御 参考迄 別添ノ通リ茲 報告申
進ス

本信寫送付先

北京 張家口 濟南 青島 上海 南京 厦門 廣東 漢口

S. 1.1.1.0 - 54

大警高秘第四八二號

昭和十四年七月十一日

在天津總領事館

警察署長 田島周平

在北京大使館

警務部長 堀内干城

在天津

總領事 田代重德 啟

租界問題ニ係リシ英居留民代表者會議ニ案スル件

當署謀者ノ提報ニ據レバ

美軍部為理事長ヨリ「パ」ハ總領事ヨリ「シ」ニ指示ニ基キ

租界問題ニ對スル在留英人ノ意見ヲ後シ東京會談ヲ鞭撻スル

目的ヲ以テ七月一日英租界中街并在華隆保險公司ハ當地英

商代表六十三名ヲ召集シ左記決議ヲ為シ英總領事ヲ通シ駐日

大使並ニ本國政府ハ傳達セル趣ナレ付何等御參考迄此後報

告申進ス

託

(一) 日英外交ノ具體的對策ハ日英間全般ノ難問解決ヲナスラ主

眼トシ局面的ノ問題ニ偏倚セザラシム要ス

(二) 日英外交ニシテ解決方策ハ公用シ且權益ノ平等ヲ堅持スルヲ要

ス

(三) 英人權益ノ確實ナル保障ヲ要求ス

(四) 金融經濟ニ就テハ英國若留民ノ損害防止ニ努ムルヲ要ス

(五) 英國若留民ノ生命財產ノ安固保障ヲ要ス

以上

S 1.1.1.0 - 54

1840

S 1.1.1.0 - 54

1839

227

機密第一〇二二號

東洋局

第一課

昭和四年七月廿日 接受

天抱抄子

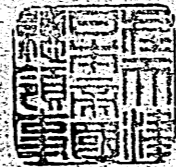
記録済



昭和四年七月十日

在天津

總領事 田代重徳



外務大臣 有田八郎 殿

天津英國工部局警務處長李漢元ノ報告ノ抄子

トノ連絡状況ニ察スルニ

本件ニ察シ何等御参考迄別紙ノ通り報告申進ス

本信寫送付先

山海關 唐山 塘沽

S 1.1.1.0 - 54

1841

228



0146

大正四年七月十日

昭和十四年七月十日

在天津總領事館

警察署長 田島周平

在北京大使館

警務部長

海防下城

殿

在天津

總領事

田代重德

殿

天津英國工部局警務署長李漢元ノ杭日分子ト

連絡状況ニ案ハル件

本件ニ案ハルシ英工部局華人社員筋ヨリ謀知セラル

據レハ英工部局警務署長李漢元ハ本月二日午後四時當地
國府系杭日首腦部ニ王若信張子琦李濟生等ヲ重要幹
部トシテ名ラ美界電話南局地下室ニ招致シ該會ヲ開催シ當
地租界隔絶問題又目下東京ニ於テ開催中ノ日英租界
問題會議ニ案ハルシ左記要綱ヲ談話ヲ為シタル趣ナル付何
等御参考迄此致報告申進ス

記

一東京ニ於テ開催中ノ日英會議ノ状況ハ斯ク英國側主張ハ

和平解決ノ傾向ニ在リ

二英國ノ主張スル和平解決ハ英國ノ若大ナル在華權益對

スル正當ナル保障要求ニ在リ

三英國ハ目下日本トハ衝突ヲ避ケントシツラカクハ亦其

時機ニ非ラサル為メナリ

S 1.1.1.0 - 54

1843

S 1.1.1.0 - 54

1842

229

四縣ハ際境府諸首腦者及教育界各各ハ抗日諸工作實際
際シ一層嚴密ナル態度ヲ持シ苟クモ日側ニ察知セラレハ
カ如キ事ナキ様慎重ヲ期セラレ度シ

以上

本信寫送付先

北京府、滄州、祁州

S 1.1.1.0 - 54 1844 230

REEL No. A-0258

0148

アジア歴史資料センター

約
字

經濟班

東洋局

普通第一〇三九號

昭和十四年七月十二日

第一課



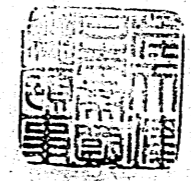
別紙添附

昭和十四年七月廿日 接受

天
地
社



在天津
總領事 田代重德



外務大臣 有田 八郎 殿

租界檢問ノ天津市稅收ニ及シタル影響ニ關スル件

本件ニ關シ今般天津統稅分局ヨリ別紙ノ通入手セルニ付テハ何等御
參考迄ニ右茲ニ送付申進ス

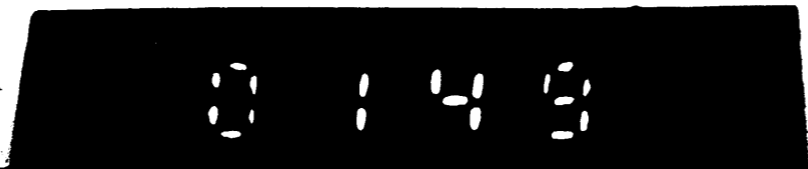
本信寫送付先 北大 上海

在天津日本總領事館

S 1.1.1.0 - 54

1845 231

REEL No. A-0258



アジア歴史資料センター

英佛租界交通者檢問實施後六月分稅收狀況表

天 津 統 稅 分 局

科 目	檢問實施後六月分總收入額		檢問實施以前二十八年一月以降五月迄ノ一ヶ月平均總收入額		昨年一月以降六月迄一ヶ月平均總收入額		檢問實施後ニ於ケル總收入額比較増減(- 減)		檢問實施後六月分純收入額		檢問實施以前二十八年一月以降五月迄ノ一ヶ月平均純收入額		檢問實施後ニ於ケル純收入額比較増減(- 減)		昨年一月以降六月迄平均總收入額比較増減(- 減)	
	圓	分	圓	分	圓	分	圓	分	圓	分	圓	分	圓	分	圓	分
總 計	1,347,560	32	2,673,813	10	2,059,251	28	-1,326,252	78	1,254,881	53	2,255,926	74	-1,001,045	41	- 811,690	96
統 稅	1,257,156	63	2,515,785	31	1,822,494	11	-1,258,628	68	1,165,864	83	2,098,205	81	- 932,340	98	- 565,357	48
捲 菸 稅	891,040	00	1,967,708	00	1,300,626	08	-1,076,668	00	815,648	92	1,560,011	10	- 708,362	18	- 409,586	08
棉 紗 稅	140,906	75	231,678	98	255,732	64	- 90,772	23	140,637	33	231,679	01	- 91,041	68	- 114,825	89
麥 粉 稅	95,614	81	116,025	38	96,628	51	- 20,410	57	95,607	51	114,537	60	- 18,930	09	- 1,013	70
火 柴 稅	117,670	05	184,123	48	146,627	43	- 66,453	43	102,046	05	175,730	63	- 73,684	58	- 28,956	90
水 泥 稅	2,016	45	2,745	00	9,461	17	- 728	55	2,016	45	2,599	29	- 582	84	- 7,445	17
薰 菸 稅	0		0		9,005	17	0		0		0		0		- 9,005	17
火 酒 稅	5,847	27	9,627	43	5,025	07	- 3,780	16	5,847	27	8,627	42	- 3,780	16	+ 822	20
啤 酒 稅	4,061	30	3,877	03	3,388	40	+ 184	27	4,061	30	3,877	02	+ 184	27	+ 672	90
汽 水 稅	0		0		0		0		0		0		0		0	
印 花 稅	14,079	32	10,516	95	1,196	95	+ 3,562	37	14,079	32	10,516	95	+ 3,562	37	+ 12,882	37
普通印花稅	13,169	32	9,595	75	152	50	+ 3,573	57	13,169	32	9,595	75	+ 3,573	57	+ 13,016	92
特種印花稅	910	00	921	20	1,054	45	- 11	20	910	00	921	20	- 11	20	- 144	45
菸 酒 稅	9,343	01	24,299	93	12,589	00	- 14,956	94	9,343	01	24,299	95	- 14,956	94	- 3,245	09
菸 公 賣 費	479	97	1,521	23	1,082	99	- 1,041	26	479	97	1,521	23	- 1,041	26	- 603	02
酒 公 賣 費	3,170	41	7,439	77	6,454	71	- 3,269	36	3,170	41	7,439	77	- 3,269	36	- 3,284	30
菸 稅	275	45	1,483	11	2,143	19	- 1,207	66	275	45	1,483	11	- 1,207	66	- 1,867	64

S 1.1.1.0 - 54

1847

232

REEL No. A-0258

0150

アジア歴史資料センター

酒 税	4,705	74	12,622	03	9,472	57	-	7,916	29	4,705	74	12,622	03	-	7,916	29	-	4,766	83
洋酒類税	711	44	1,233	79	830	17	-	523	35	711	44	1,233	79	-	523	35	-	118	73
礦 産 税	3,687	06	3,615	17	140,840	16	+	81	89	2,299	87	3,308	31	+	578	75	-	147,153	31
礦 産 税	3,687	06	3,615	17	140,840	16	+	81	89	2,299	87	3,308	31	+	378	75	-	147,153	31
所 得 税	32,010	12	60,068	99	65,992	90	-	28,058	87	32,010	12	60,068	99	-	28,058	87	-	31,882	79
營利事業所得税	0		0		716	74		0		0		0			0		-	716	74
薪給報酬所得税	1,372	52	2,204	28	3,608	21	-	831	76	1,372	52	2,204	28	-	831	76	-	2,235	69
證券存款所得税	30,637	60	57,864	70	59,567	95	-	26,975	02	30,637	60	57,864	70	-	26,975	02	-	28,950	35
禁 烟 税	30,889	68	39,635	20	5890	83	-	8,745	52	30,889	68	39,635	20	-	8,745	52	-	24,998	85
銷 燬 証 費	14,123	48	29,230	77	930	20	-	15,107	29	14,123	48	29,230	77	-	15,107	29	+	13,193	28
土膏店執照費	14,700	00	14,320	00	4,633	32	+	380	00	14,700	00	14,320	00	+	380	00	+	10,066	60
運 照 費	2,066	20	3,284	43	325	31	-	1,218	23	2,066	20	3,284	43	-	1,218	23	+	1,740	89
雜 收 入	394	50	13,691	51	836	51	-	13,297	01	394	50	13,691	51	-	13,297	01	-	542	01
罰 金	357	70	508	46	2	90	-	150	76	357	70	508	46	-	150	76	+	354	80
沒收物變價	0		0		364	20	-	0		0		0		-	0		+	364	26
其他收入	36	80	1,427	62	1	12	-	13,908	20	36	80	1,427	62	-	13,908	20	+	35	68

- ◎備考 1. 捲菸税ニ於テ特ニ激減ヲミタルハ、英佛租界交通者檢問實施ニヨリ、本市ニ於ケル最大捲煙草工場タル願中菸公司工場ノ重要幹部ニシテ、全租界内ニ居住セル者及一部職工ノ通勤不便トナリタルニヨリ、六月十四日ヨリ六月二十一日迄ノ八日間臨時休業シタルヲ一原因トシ、第二ノ原因トシテハ檢問實施ノ影響ヲ受ケ全公司ハ職工ノ不足ニヨリ大體從前製造ノ三分ノ一ヲ操短シ居ルト又在佛租界ノカラザス捲煙草工場等モ同一事由ニヨリ二割程度ノ操短ヲ爲シアルニ因ル。
2. 棉紗税ニ於テ減收ヲミタルハ、英租界ノ達生製線工廠カ、前記理由及原料缺乏等ニ依リ六月二十二日ヨリ休業シタルニ因ル。
3. 其他各種稅收ニ於テ一般的ニ減收ヲミタルハ、從來納稅者ニシテ在英佛租界ノ銀號。銀行等ノ小切手ニヨリ納稅シ居リタルモノ多カリシニ、檢問實施以來之カ利用不可能トナリタルノミナラス、之ニ代ルベキ金融機關ハ、英佛租界外ニ少ナク、且他ノ金融機關トノ取引開始モ困難ナル状態ナリシニ因ル。

天津租界問題ニ關シ在京英國大使ヨリ申出ノ件
(牛乳搬入妨害ニ關スル件)

(昭和十四年七月一日)

七月十日附在京英國大使發有田大臣宛牛公信
要譯文

拜啓陳者本使ハ七月六日及八日ノ往翰ニ於テ天津英租界ニ對スル牛乳供給ニ關スル現地日本官憲ノ妨害措置ニ關シ閣下ノ注意ヲ喚起シ且斯ル非人道的措置ハ日本政府ノ是認ノ下ニ行ハレ得ヘカラサル確信ヲ有スル旨申述候

前記緊急申入ニモ拘ラス本使ハ今尙英國租界市場ニ對シ七月七日午後四時ニ至ル迄牛乳ハ全然到着セザリントノ報告ニ接シ候其ノ後右

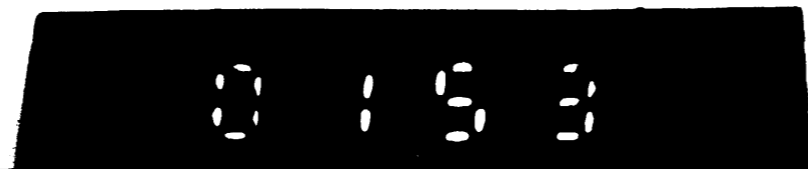
大仲子

ヲ覆スカ如キ電報ヲ接受セサルヲ以テ本使ハ今日モ同様ノ狀況ニ在ルモノト推定セサルヲ得サル次第ニ候日本政府及天津日本現地官憲ハ常ニ英國租界ニ對スル食糧供給ヲ妨害スル意思ナキコトヲ表明セラレ且本使カ今回ノ提議セラレタル會談ヲ直チニ開始スルコトニ同意セルハ一時設置セラレタル斯ル妨害措置力直チニ停止セララルトノ前提ニ依リタルモノニ候本使ノ知ル所ニ依レハ他ノ生食物供給ニ關スル狀況ハ大ニ改善セラレ從テ問題ハ牛乳ノ搬入ニ對スル妨害措置ノミニ歸スル次第ニ候本使ハ閣下カ吾々ノ會談ハ必要食糧供給ニ對スル干渉カ繼續スル限り満足ナル結果ヲ得ルコト困難ナリ(特ニ斯ル措置カ日本官憲自ラノ累次ノ聲明ニ反スル場合ニ於テハ)ト本使カ申スコトヲ了解セラルルモノト信スルモノニ候

故ニ本使ハ閣下カ現地官憲ニ對シ英國租界ニ對スル牛乳ノ供給妨害
 措置ヲ直チニ阻止スル様緊急指令ヲ發セラルレハ幸甚ニシテ且本使
 ハ關係者總テノ利益ノ爲ニ右指令カ決定的ニ實行セラルル迄來ルヘ
 キ會談ノ開催ヲ延期スヘキ方可然ト存スル次第提言致候 敬 具

S 1.1.1.0 - 54 1850 236

REEL No. A-0258



- 2 -

no desire to interfere with the food supplies of the British Concession and my readiness to engage at once in the proposed conversations had been based on the assumption that such restrictions as were at one time instituted would at once be discontinued. I understand that the position as regards other perishable food supplies has greatly improved so that the question resolves itself into the present embargo on the passage of milk. I feel sure Your Excellency will understand me when I say that our conversations cannot possibly produce any satisfactory result so long as this interference with an essential food supply is continued - particularly as such action is contrary to the repeated declarations of the Japanese authorities themselves.

I should be grateful therefore if Your Excellency would arrange for immediate instructions to be sent to the local authorities to abstain from any further interference with the milk supply of the British Concession and I would suggest, in the interests of all concerned, that the opening of our proposed conversations should/

S 1.1.1.0 - 54

1852 238

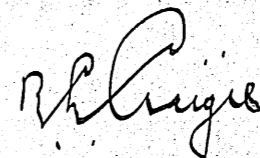
- 3 -

should be postponed until this order has definitely been put into effect.

Believe me

my dear Minister,

Yours very sincerely,



S 1.1.1.0 - 54

1851

239

REEL No. A-0258

0154

アジア歴史資料センター



Handwritten Japanese text: 外務大臣

Handwritten Japanese text: 大目了

BRITISH EMBASSY,
TOKYO.

10th July, 1939

Immediate

My dear Minister,

In my letters of July 6th and July 8th I drew attention to interference by the Japanese local authorities at Tientsin with the milk supply of the British Concession and I stated my conviction that so inhumane a procedure could not possibly have the approval of the Japanese Government.

Handwritten Japanese text: 外務大臣

I now learn to my regret that, despite my urgent representations, no milk had reached the British Concession market up to 4 p.m. on July 7th. In the absence of any telegram to the contrary I am bound to assume that the position remains the same today. The Japanese Government and the Japanese local authorities in Tientsin have consistently maintained that they have

no/

His Excellency

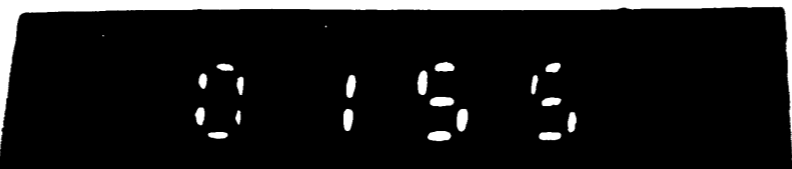
Mr. Hachiro Arita,

His Imperial Japanese Majesty's
Minister for Foreign Affairs.



S 1.1.1.0 - 54

1853 237





382

拜啓陳者本使ハ七月六日及八日ノ往翰ニ於テ天津英租界ニ對スル牛乳供給ニ關スル現地日本官憲ノ妨害措置ニ關シ閣下ノ注意ヲ喚起シ且斯ル非人道的措置ハ日本政府ノ是認ノ下ニ行ハレ得ヘカラサル確信ヲ有スル旨申述候

前記緊急申入ニモ拘ラス本使ハ今尙英國租界市場ニ對シ七月七日午後四時ニ至ル迄牛乳ハ全然到着セサリントノ報告ニ接シ候其ノ後右

要譯文
七月十日附在京英國大使發有田大臣宛牛公信

(昭和十四年七月一日)

天津租界問題ニ關シ在京英國大使ヨリ申出ノ件

(牛乳搬入妨害ニ關スル件)

S 1.1.1.0 - 54

1855 241

懸案

總番號一

382

國別

英

件名	天津租界問題ニ關シ在京英國大使ヨリ申出ノ件		
到	大臣、 外務	7月10日	
	主管課	7月12日	
處置	寫送付	省内 傳、情三、米一、調五、 電信、文書、儀典。 (省外。陸、海、參本、軍令。)	7月12日
	出先	要領電報 寫郵送	7月12日
回答	起案		月 日
	發送		月 日
	出先へ郵電報		月 日
備考	省内外へ寫		月 日
	後ニ立ノ邊ヨリ、書ヲハルニ付、檢リ置ク		

大臣閣下
次官閣下

東亞局長

東亞局第一課長
東亞局第二課長

主任

S 1.1.1.0 - 54 240 1854

2
ヲ覆スカ如キ電報ヲ接受セサルヲ以テ本使ハ今日モ同様ノ狀況ニ在
ルモノト推定セサルヲ得サル次第ニ候日本政府及天津日本現地官憲
ハ常ニ英國租界ニ對スル食糧供給ヲ妨害スル意思ナキコトヲ表明セ
ラレ且本使カ今回ノ提議セラレタル會談ヲ直チニ開始スルコトニ同
意セルハ一時設置セラレタル斯ル妨害措置カ直チニ停止セララルト
ノ前提ニ依リタルモノニ候本使ノ知ル所ニ依レハ他ノ生食物供給ニ
關スル狀況ハ大ニ改善セラレ從テ問題ハ牛乳ノ搬入ニ對スル妨害措
置ノミニ歸スル次第ニ候本使ハ閣下カ吾々ノ會談ハ必要食糧供給ニ
對スル干涉カ繼續スル限り満足ナル結果ヲ得ルコト困難ナリ（特ニ
斯ル措置カ日本官憲自ラノ累次ノ聲明ニ反スル場合ニ於テハ）ト本
使カ申スコトヲ了解セララルモノト信スルモノニ候

S 1.1.1.0 - 54 1856 242

5
故ニ本使ハ閣下カ現地官憲ニ對シ英國租界ニ對スル牛乳ノ供給妨害
措置ヲ直チニ阻止スル様緊急指令ヲ發セラルレハ幸甚ニシテ且本使
ハ關係者總テノ利益ノ爲ニ右指令カ決定的ニ實行セララル迄來ルヘ
キ會談ノ開催ヲ延期スヘキ方可然ト存スル次第提言致候 敬 具

S 1.1.1.0 - 54 1857 243

-2-

no desire to interfere with the food supplies of the British Concession and my readiness to engage at once in the proposed conversations had been based on the assumption that such restrictions as were at one time instituted would at once be discontinued. I understand that the position as regards other perishable food supplies has greatly improved so that the question resolves itself into the present embargo on the passage of milk. I feel sure Your Excellency will understand me when I say that our conversations cannot possibly produce any satisfactory result so long as this interference with an essential food supply is continued - particularly as such action is contrary to the repeated declarations of the Japanese authorities themselves.

I should be grateful therefore if Your Excellency would arrange for immediate instructions to be sent to the local authorities to abstain from any further interference with the milk supply of the British Concession and I would suggest, in the interests of all concerned, that the opening of our proposed conversations should/

S 1.1.1.0 - 54 | 1859 245

-3-

should be postponed until this order has definitely been put into effect.

Believe me

my dear Minister,

Yours very sincerely,

R.L. Craigie (signed)

S 1.1.1.0 - 54 1858

246

REEL No. A-0258

0158

アジア歴史資料センター

Spence

Copy

British Embassy,
Tokio

10th July, 1938

Immediate

My dear Minister,

In my letters of July 6th and July 8th I drew attention to interference by the Japanese local authorities at Tientsin with the milk supply of the British Concession and I stated my conviction that so inhumane a procedure could not possibly have the approval of the Japanese Government.

I now learn to my regret that, despite my urgent representations, no milk had reached the British Concession market up to 4 p.m. on July 7th. In the absence of any telegram to the contrary I am bound to assume that the position remains the same today. The Japanese Government and the Japanese local authorities in Tientsin have consistently maintained that they have

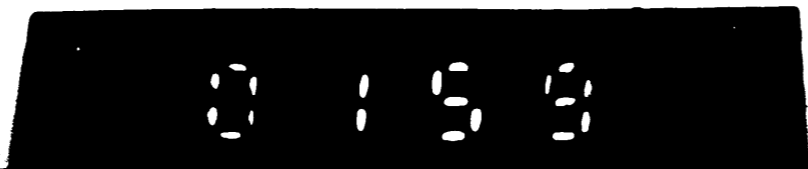
no/
His Excellency

Mr. Hachiro Arita,

His Imperial Japanese Majesty's
Minister for Foreign Affairs.

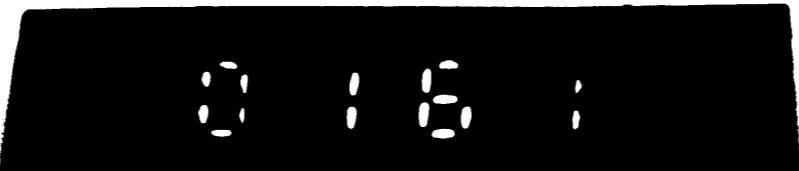
S 1.1.1.0 - 54 | 1860 244

REEL No. A-0258



公 信 案	外 務 省	外務省に於ける 本件ハ 本件ハ 本件ハ 本件ハ	本件ハ 本件ハ 本件ハ 本件ハ	本件ハ 本件ハ 本件ハ 本件ハ	本件ハ 本件ハ 本件ハ 本件ハ	本件ハ 本件ハ 本件ハ 本件ハ	本件ハ 本件ハ 本件ハ 本件ハ	本件ハ 本件ハ 本件ハ 本件ハ
<small>(日本標準規格 B5)</small> S 1.1.1.0 2-54 249 1863								

REEL No. A-0258



大警高秘第四八九號

昭和十四年七月十三日

在天津總領事館

警務署長 田島 周平

在北京大使館

警務部長 堀 下 城 毅

在天津

總領事 田代 重 德 殿

英租界華人逮捕ノ腕出部 刑ニ解スル件

英租界檢同檢索實施以來租界當局ハ表面平靜ヲ装ヒ
活シモ物資ノ缺乏ニ由リ物價ノ暴騰或ハ商業不振ニ原因シ租

界内ヨリ華街特別區方面へ移轉スル華人ノ續出ノ傾向ヲ
モ對シテ當局自ラ或ハ工部局董事會ニ於テモ之ヲ阻止對策
考究中ナルモ未ダ根本對策ヲ舉見スルニ到ラサル狀況ナ
ル處最近ニ於テハ租界逮捕間ニモ腕出ヲ企圖スルモノ舉生
セリ即チ同工部局逮捕長孫鴻書ハ特務逮捕等ト連絡
現在三十余名ノ同志ヲ得テ日本側トノ連絡ニ率ニ屢々協
議ヲ為シツマアル趣ニテ之カ原因トシテ傳ヘラレツマアル處ニ
ノ如シ
一 逮捕ノ家族ハ何レモ華街ニテリテ兩者ノ別居生活ハ費用高
ニ非常ナル生活難ヲ招未ス
一 英工部局當局ニ對シテ右ニ對スル辦法ト聯絡ノ要求中ナリ
力ニ對スル適當ナル方法ヲ講セス
一 英租界當局ハ對鎖以來約一ヶ月ニ及ビトスルモ何等ノ對策

S 1.1.1.0 - 54 1865

S 1.1.1.0 - 54 1864 250

ナノ只單ニ言辭ヲ弄リシ強硬的態變ニ出テツケリ
右何等御 参考 迄此投報 告申進ス

S 1.1.1.0 - 54

1866

251

REEL No. A-0258

0163

アジア歴史資料センター

電信寫

昭和14 二一七四五 略

香港 七月十三日後發
本省 十三日夜着

歐情
通亞

有田外務大臣

田尻總領事

第九三三號

十二日重慶發「トランスオーションヤン」ハ孔祥熙カ日英會談ニ關シ日
本ノ要求ニ對スル英國ノ如何ナル讓歩モ支那ニ非友誼ナラント語リ
又同會談ハ天津ニ於ケル紛争ノミ問題トスヘク一般政治問題ニ觸ル
ヘキモノニアラス支那カ抗戰ヲ放棄スル唯一ノ條件ハ日本軍ノ完全
ナル撤兵ニシテ然ル後初メテ支那ハ第三國又ハ國際會議ヲ通シテ和
平ヲ論議スヘント述ヘタル旨報シ居レリ

S 1.1.1.0 -54 1867 252

天
地
社
行

天津

天津英國租界ノ法律上ノ地位

第一 租界ノ起原

一 英國ハ一八六〇年十月二十四日北京ニ於テ署名セラレタル南京條約追加條約（北京續約）第四條ヲ以テ條約署名ノ日ヨリ清國政府ハ天津港ヲ通商ノ爲開放スベク又英國臣民ハ條約ニ依リ通商ノ爲開放セラレタル他ノ清國港ニ於ケルト同一ノ條件ノ下ニ其ノ地ニ居住シ及通商スルコトヲ得ベキモノトセラレタリ。

二 前記條約規定中ノ他ノ諸國港ニ於ケルト同一ノ條件ノ下ニ其ノ地ニ居住シ及通商シ得トアル處右條件ノ條約ノ規定スル内容ハ左ノ通ナリ。

一 一八四二年八月二十九日南京ニ於テ署名セラレタル江寧條約第二條ハ一清國皇帝陛下ハ英國臣民カ其ノ家族從者ヲ携ヘテ廣東、厦門、福州、寧波及上海ノ市町ニ於テ商業ニ従事スル爲迫害又ハ拘束ヲ蒙ルコトナク居住スルヲ得シムヘキコトヲ約スル

1860年10月24日

天津租界

(日本標準規格B5) S 1.1.1.0 - 54 1868 253

規定シ一八四三年十月八日ノ虎門塞追加條約第七條ハ右ノ規定ニ基キ一地方官ハ領事ニ通シテ土地及家屋（其ノ借賃又ハ代價ハ何レノ側ニ對シテモ苛酷ナラサル様人民ノ間ニ行ハルル割合ニ準シテ正當衡平ニ按配セラルヘキモノトス）ヲ用意シ置クヘシト定メタリ。一八四二年ノ南京條約ハ一八五八年六月二十六日ノ英清天津條約第一條ニ依リ更新確認セラレタルモ虎門塞追加條約ハ廢棄セラレ開港場ニ於ケル英國人ノ貿易及居住ノ權利ハ同條約第十一條及第十二條ニ依リ規定セララルニ至レルモノトス。

即チ一已ニ貿易ノ爲開放セラレタル港ニ於テ享有スルト同一ノ特權、利益及免除ヲ享有スヘク其ノ中ニハ居住ノ權利、家屋買入又ハ貸借ノ權利、敷地借入ノ權利並寺院、病院及墓地建設ノ特權ヲ含ムモノトシ虎門塞條約第七條ノ地方官カ領事ヲ通シテ斡旋ヲ爲ス趣旨ノ項ヲ削除シタルモノナリトス。

(日本標準規格B5) S 1.1.1.0 - 54 1869 254

外務省

外務省

即チ前記居住ノ條件ハ商業ニ從事スル爲迫害又ハ拘束ヲ蒙ルコトナク居住シ得ルコトニシテ即チ其ノ中ニハ居住ノ權利、家屋買入又ハ貸借ノ權利、敷地買入ノ權利、寺院、病院及墓地建設ノ特權ヲ含ムモノトス。

天津英國租界ハ前述ノ條件ノ下ニ前顯ノ一八六〇年ノ所謂北京續約第四條ニ依リ設置セラレタルモノナルカ其ノ後一八九七年（英國人カ支那人所有者ヨリ買收セル土地ヲ天津海關道台ノ布告ニ依リ英國ノ行政區域ニ編入）、一九〇二年（米國ノ專管居留地タリシ地域ヲ英國カ米國ヨリ譲リ受ケ海關道台ノ布告ニ依リ英國ノ行政區域ニ編入）及一九〇三年（海關布告ニ依リ編入）夫々新區域ノ編入ニ依リ行政區域擴張セラレタリ。

（日本標準規格B5） S 1.1.1.0 - 54 1870 255

外務省

第二天津英國租界ノ性質

天津英國租界ハ其ノ法律上ノ性質ハ所謂「コンセンション」ナリ。天津英國租界ハ北京續約ノ前記規定ニ依リ一八六〇年清國政府ヨリ英國政府ニ提供セラレタル地域ヲ起原トスルモノニシテ英國政府ハ包括的ニ右土地ニ付水租權（Perpetual Lease）ヲ取得シ更ニ其ノ土地ヲ分割シテ自國臣民ニ九十九年ノ期限ヲ以テ轉貸シ而シテ右ノ土地ノ權利ヲ英國人以外ノ者ニ讓渡スル場合ニ於テハ英國公使ノ許可ヲ要スルモノトシタリ。

天津英國租界ハ支那政府ヨリ一定地域ノ水租權ヲ外國政府ニ提供シ外國政府ヨリ更ニ各個人ニ拂下グルノ形式ヲ採リタルモノナルヲ以テ所謂「コンセンション」ノ性質ヲ有スルモノナリトス。一定地域カ外國人ノ居留地トシテ定メラルルニ止マリ其ノ土地所有權ハ支那人又ハ支那政府ニ於テ留保シ外國人ガ此ノ地域内ニ於テ所有權若ハ水租權ヲ取得センガ爲ニ各自其ノ權利者ニ對シテ交

（日本標準規格B5） S 1.1.1.0 - 54 1871 256

外務省

涉ヲ爲スノ形式ヲ採リテ成立セル居留地即チ所謂「セツトルメン
 ト」ト區別セラレベキモノトス。
 英國政府ハ一八六〇年ニ確定セラレタル英國租界ノ地域ヲ以テ
 British Concession ト言ヒ其ノ後ノ擴張ニ依ルモノハ其ノ性質
 ニ於テ「コンセッション」ト言フベカラザルガ故ニ British Municipal
 Extension ト稱シテ之ヲ區別シ居レリ。

外務省

(日本標準規格B5)

S 1.1.1.0 - 54

1872 257

第三 天津英國租界章程

一 天津英國租界章程ハ一八六六年十二月二十六日 The Local Regulations
 of the British Concession at Tientsin ヲ制定シ後租界擴張ニ際シ追補
 及改正アリ(一八九九年三月三十一日及一九一八年十二月十七日。
 一九二二年及一九二五年ノ一部修正ヲ經テ一九二八年ニ改正アリ。
 一九二九年ノ追補ヲ經テ今日ニ及ベリ。
 二 天津英國租界章程ハ頗ル詳密ヲ極メ全文五十三條ヨリ成リ(1)章程
 用語ノ意義(第一條)、(2)租界ノ境域(第二條)、(3)選舉人總會
 (第三條及第五條)、(4)選舉人資格(第六條及第八條)、(5)選舉
 委任(第九條)、(6)選舉人名簿(第十條)、(7)選舉人總會ノ權限
 (第十一條)、(8)借地券更新償還基金(第十二條)、(9)參事會ノ
 構成(第十三條)、(10)參事會員ノ缺格要件(第十四條)、(11)參事
 會ノ選舉(第十五條)、(12)參事會ノ議事(第十六條)、(13)參事會
 ノ補缺(第十七條)、(14)租界公有財產(第十八條)、(15)歲入ノ徵收

外務省

(日本標準規格B5)

S 1.1.1.0 - 54

1873

258

條及第五十一條)、(40)章程及補則ノ解釋(第五十二條)、(41)章程ノ改正(第五十三條)ニ付規定シ居レリ。尙右ノ外補則アリ。

外務省

日本標準規格B5

S 1.1.1.0 - 54

1875 260

(第十九條)、(16)補則ノ制定及改廢(第二十條)、(17)警察(第二十一條)、(18)義勇兵及消防隊(第二十二條)、(19)各種免許(第二十三條及第二十九條)、(20)公安妨害者ノ取締(第三十條)、(21)道路交通ノ取締(第三十一條)、(22)動物虐待ノ取締(第三十二條)、(23)公衆衛生等ノ爲ニ行フ私有家屋ノ檢閲(第三十三條)、(24)建築物取締(第三十四條)、(25)低地埋立ノ許可(第三十五條)、(26)道路及下水道ノ建設(第三十六條)、(27)土地收用(第三十七條)、(28)參事會書記長及其他ノ吏員雇員ノ任用(第三十八條)、(29)滯納者ノ處分(第三十九條)、(30)參事會ニ對スル訴訟(第四十條)、(31)公有財産ノ處分(第四十一條)、(32)豫算(第四十二條)、(33)評價委員(第四十三條及第四十四條)、(34)收用不動産ノ評價(第四十五條)、(35)支那政府ニ納付スヘキ地租(第四十六條)、(36)土地ノ登記(第四十七條)、(37)境界石(第四十八條)、(38)法令又ハ文書公布ノ方法(第四十九條)、(39)章程及補則ノ周知及印刷(第五十

外務省

日本標準規格B5

S 1.1.1.0 - 54

1874 259

REEL No. A-0258

0158

アジア歴史資料センター

第四、天津英國租界ノ行政機關（昭和四年十一月二十日天津總領事來信機密第七七二號ニ依ル）。

一 行政委員會（董事會、參事會）

英國租界ノ行政ハ最初領事ニ依リ總理セラレタルカ後工部局ヲ設立シ居留民ノ公選ニ依リ行政委員ヲ舉ケ行政委員會ハ領事官ノ監督ノ下ニ行政事務ヲ處理スルコトナレリ。

行政委員會ハ選舉制ニ依ル五名乃至十名ノ參事會員ヲ以テ組織ス（參事會長ハ英國人トス）。

行政委員ハ領事官ノ監督ノ下ニ納税人總會ノ議決ノ執行、租界章程ノ議決、吏員ノ任免、警察、財政、課税等租界行政ニ關スル一切ノ權限ヲ有ス。

戰亂其ノ他非常事變發生ノ虞アリト認メタルトキ領事官ハ非常狀態ノ布告ヲ爲スコトヲ得。右非常狀態ノ繼續ハ行政委員會ハ租界居住者ノ生命及財産ヲ保護スル爲領事ノ認可ヲ得テ非常命令

外務省

(日本標準規格 B5)

S 1.1.1.0 - 54

1876 261

Emergency order ヲ發布スルコトヲ得（章程第二十條ノ二）。

ニ 工部局吏員

行政委員會ノ指揮ヲ受ケ行政上ノ事務ヲ實際ニ處理スル爲工部局ニ吏員トシテ事務總監、祕書、收入役、市政工程師、電氣工程師水道工程師、警察總監 Superintendent of Police、總巡監 Chief Constable、衛生官及義勇隊長アリ。

三 英國租界ニ於ケル警察制度（昭和五年五月二十九日天津總領事來信公第四二〇號ニ依ル）

英國租界工部局警察ノ最高監督及聯絡機關ハ事務總監 Co-ordinating Officer ニシテ行政委員會祕書 Secretary of Council 之ヲ兼任ス。

事務總監ノ下ニ警務課ト巡捕課ト二課アリ。

警務課 Administration Dept. ノ長ハ外國人警務總監 Forelgn Superintendent ニシテ一般ノ警察行政ヲ司ル。尙其ノ下ニ刑事

外務省

(日本標準規格 B5)

S 1.1.1.0 - 54

1877

262

Criminal Investigation Dept. 交通 Traffic 、妨害 Nuisance
ノ三科アリ。
各科長ハ警務監 Inspector ナリ。警務課ノ幹部ハ英國人ヲ以テ
之ニ充ツ。

巡捕課 Executive Dept. ハ警察事故豫防方面即チ巡捕ノ採用、解
雇及指揮監督ヲ掌ル。巡捕課ノ長ハ總巡監 Chief Constable ニシ
テ支那人ヲ以テ之ニ充ツ。巡捕課ハ警務課ト並立シ獨立ノ一課ヲ
爲スモ支那人總巡監ハ行政委員會ニ對シ外國人警務總監ヲ通シ責
任ヲ負フ内規ナリ。

現在前記ノ事務總監兼秘書ハ「バーンス」H.F. Barnes ニシテ、
警務課長即チ警務總監 Superintendent of Police ハ「チニス」
R.H. Dennis 、巡捕課長即チ總巡監 Chief Constable ハ李漢成
ナリ。

外務省

工部局吏員ノ任免權
工部局吏員ノ任免ニハ行政委員會ノ協贊ヲ必要トス（「スタッフ、
レギュレーション」第四款第五項）。

第五、共同租界ニ於ケル英國軍隊駐屯權ノ根據
英國租界ニ於ケル英國軍隊駐屯權ノ根據ハ北清事變ニ關スル最終議
定書第九條ノ「清國政府ハ、各國カ首都海濱國ノ自由交通ヲ
維持センカ爲メニ相互ノ協議ヲ以テ決定スヘキ各地點ヲ占領スルノ
權利ヲ認メタリ即此ノ各國ノ占領スル地點ハ臺村、郎房、天津、
天津、トストアル規定ニ存ス。

右規定ハ文字トシテハ占領ナル語用ヒラレ居ルモ之ヲ同議定書ノ漢
文本文ニ照シ又實際ノ慣行ニ鑑ミルトキハ單ニ平時ニ於ケル軍隊ノ
駐屯ヲ意味スルモノト解スヘク從ツテ法規上ハ軍ノ交戦法規ニ基ク
占領行爲ヲ妨害シ又ハ之ニ抵抗スルコトヲ得サルヘキ次第ナリトス。
尤モ現實ノ問題トシテハ別ニ政治的ニ之ヲ考慮スヘキコト勿論ナリ。

外務省

電信寫

可能性ヲ生シタルモノト認フヘク莫ノ時ニハ勿論第三國ノ斡旋ニ係
ル和平會議或ハ國際會議ニモ支那ハ欣然參加スヘシト語リタル趣ナ
北京、天津、南京、漢口、厦門へ電報シ香港へ暗送セリ

S 1.1.1.0 54

1881 266

電信寫



和14 二一七五三 略 上海 七月十三日發 情、亞、歐、通
本省 十三日夜着
有田外務大臣
第一九五四號
三浦總領事
十二日重慶發「トランス、オーシヤン」電ニ依レハ孔祥熙ハ同社極
東總支配人「メルセル」ニ對シ日英東京會議ノ結果英國力讓歩シテ
日本ノ要求ヲ容ルルニ於テハ支那トノ友誼ヲ傷ケタルモノト斷セサ
ルヲ得ス勿論右會談ハ天津問題カ其ノ核心トナルヘキ處之ヲ無制限
ニ極東ノ一般問題迄擴大スヘキニアラスト主張シ重慶政府ノ休戰條
件ハ日本ノ撤兵カ先決問題ニシテ之サヘ實行セラルレハ日支交渉ノ

S 1.1.1.0 54

1880 265

天保社

(昭和十四年七月三十一日)

六月三十日附在京英大使發有田大臣宛半公信要譯

天津英租界搬入食物等ニ關スル件

拜啓陳者六月二十八日附往翰ニ關シ本使ハ更ニ天津英國租界ニ於ケル生食物供給ニ關スル詳細ナル事實ノ公ノ報告ノ趣旨ヲ茲許送附致候

閣下ハ右ニ依リ日本現地官憲カ租界ノ食糧供給ニ干涉シ居ラストスル聲明カ右數字ニ依リ無効トナリ居ルコトヲ明白ニ諒解セラルルモノト存候

敬具

左記ハ六月十六日ヨリ二十日迄ノ英國租界市場ニ於ケル生食物通常ノ供給ニ對スル平均記述ナリ

牛	肉	一九%
魚		一四%
鳥	類	一六%
野	菜	二八%
卵		通常
ニ價格騰貴ノ「パーセンテージ」		
牛	肉	六六%
魚		一二%
鶏		一四%

卵 四二%
野菜 二二%

三 英國工部局董事長ハ多クノ支那人殊ニ貧困階級ニ於テハ今次檢問
措置カ施行セラレテ以來牛肉及野菜ノ攝取ヲ減シ居ルモノトノ意
見ヲ有ス

四 佛租界ニ於ケル生食物ノ供給ハ今日通常化セル趣ナルカ右ハ佛國
租界當局カ其ノ租界ニ對スル運送ヲ軍用自動車ニ依リナスコトヲ
取極メタルカ爲ナリ

